

C. 日本獣医寄生虫学会

9月20日(火) 第3会場 演題番号 C-1~C-3

15:00~15:30

座長: 浅川 満彦 (酪農学園大学)

- C-1 *Ollulanus tricuspis*性胃炎と診断した犬の1例…………… 197
○和田 貴仁¹、中島 亘¹、福本 真一郎²、森田 達志³、今井 壮一³、安部 浩之⁴、
内田 和幸⁵、大野 耕一¹、辻本 元¹
(¹東大 動物医療センター内科系診療科、²酪農大 獣医寄生虫病、³日獣大 獣医寄生虫病、
⁴ひろ動物病院、⁵東大院 獣医病理)
- C-2 ザンビア共和国の野生ブクより得られた*Setaria bicoronata* および*S. pillersi* の分子学的解析… 197
○鈴木 佳奈子¹、市川 まどか¹、安田 準²、板垣 匡¹
(¹岩手大 農・獣医寄生虫病、²岩手大 小動物内科)
- C-3 Morphological polymorphism of *Spiculopteria houdemeri* (Schwartz, 1926) (Nematoda: Ostertagiinae) from wild ruminants in Japan …………… 197
Khaled Sultan¹、○Patrice Makouloutou¹、金城 芳典²、齋田 栄里奈³、横山 真弓^{3,4}、
鈴木 和男⁵、佐藤 宏¹
(¹山口大 農・獣医寄生虫病、²NPO法人)四国自然史科学研究センター、
³兵庫県森林動物研究センター、⁴兵庫県立大・自然・環境科学研、
⁵田辺市・ふるさと自然公園センター)

9月20日(火) 第3会場 演題番号 C-4~C-6

15:30~16:00

座長: 板垣 匡 (岩手大学)

- C-4 ラット小腸寄生線虫*Orientostrongylus ezoensis*の長期感染モデルとしての検討…………… 197
○山田 清太郎、朝倉 康仁、西川 友貴、宮庄 拓、横井 健太、福本 真一郎
(酪農大 獣医)
- C-5 Parasitological investigation of wild rodents collected from Mongolia: Its outline and preliminary results …………… 198
○浅川 満彦¹、Tsevegmid Khaliunaa¹、Chuluunbaatar Gantigmaa²、Sumiya Battulga²、
Davaajav Abmed³、Davaasuren Anu³、星野 仏方⁴、伊藤 亮⁵
(¹酪農大 獣・感染病理、² Mongolian Academy of Science、
³Ministry of Health of Mongolia National Center for Communicable Diseases、
⁴酪農大 環境システム・生環、⁵旭川医科大学 医・寄生虫)
- C-6 特定地域で捕獲されるアライグマでの高頻度の*Euryhalmis costaricensis* 成虫寄生…………… 198
○相津 康宏¹、金森 弘樹²、伊原 禎雄³、藤原 かおり⁴、宇根 有美⁵、佐藤 宏¹
(¹山口大 農・獣医寄生虫病、²島根県中山間地域研究センター、³奥羽大学歯学部、
⁴福島県生活環境部自然保護課、⁵麻布大 獣医・病理)

9月20日(火) 第3会場 演題番号 C-7~C-9

16:00~16:30

座長: 杉山 広 (国立感染症研究所)

- C-7 鶏筋肉に寄生する猫回虫幼虫の低温耐性…………… 198
平 健介、○岡田 夏樹、齋藤 康秀 (麻布大 寄生虫学研究室)
- C-8 近畿・中国・四国地方におけるイノシシ猟犬の肺吸虫感染状況調査…………… 198
○入江 隆夫¹、山口 洋平²、Doanh Pham Ngoc²、野中 成晃²、堀井 洋一郎²
(¹宮崎大院 医獣・獣医寄生虫病学、²宮崎大 農・獣医寄生虫病学)
- C-9 糞便内肺吸虫卵検査におけるホルマリナーテル法(MGL法)の再検討と新しい検査法、エーテルトラップ法の提案…………… 199
○山口 洋平¹、入江 隆夫²、数面 麻子¹、野中 成晃¹、堀井 洋一郎¹
(¹宮崎大 農・獣医寄生虫病、²宮崎大院 医獣・獣医寄生虫病学)

9月20日(火) 第3会場 演題番号 C-10~C-12

16:30~17:00

座長: 奥 祐三郎 (鳥取大学)

- C-10 膝蛭類の虫卵検査におけるナイロンメッシュの活用…………… 199
○坂口 浩平¹、篠原 呂之¹、酒井 博史²、昌子 暢賢³、堀井 洋一郎¹、野中 成晃¹
(¹宮崎大 農・獣医寄生虫病、²いとしま動物クリニック、³島根県食肉衛生検査所)
- C-11 ザンビア産肝蛭の分子系統学的解析…………… 199
○結城 章太郎¹、志茂 順子¹、市川 まどか¹、安田 準²、板垣 匡¹
(¹岩手大 農・獣医寄生虫病、²岩手大 農・小動物内科)
- C-12 中国青海省における牧畜犬のテニア科条虫感染調査…………… 199
○郭 志宏¹、李 偉²、彭 毛²、朶 紅²、沈 秀英²、付 勇²、那須 哲夫³、
堀井 洋一郎⁴、野中 成晃⁴
(¹宮崎大院 医獣・獣医寄生虫病、²中国青海大学畜牧獣医科学院 獣医研究所、
³宮崎大 獣医解剖、⁴宮崎大 獣医寄生虫病)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-13~C-15

9:00~9:30

座長: 笹井 和美 (大阪府立大学)

- C-13 放牧農場におけるクリプトスポリジウム原虫の分子疫学調査…………… 200
○村越 ふみ¹、松原 立真²、佐藤 臨太郎³、加藤 祐樹³、佐々木 貴子³、福田 康弘³、
多田 千佳³、中井 裕³
(¹東大 農・獣医微生物、²筑波大・院、³東北大学 農・環境システム生物学)
- C-14 コザクラインコのクリプトスポリジウム症糞便検査法…………… 200
○高木 慎介¹、森田 達志¹、牧野 幾子²、海老沢 和荘²、石岡 克己¹、池 和憲¹、
今井 壯一¹、小野崎 正修³ (日獣大、²横浜小鳥の病院、³関東化学)

- C-15 鶏*Eimeria* 外界発育ステージの網羅的発現遺伝子解析…………… 200
 ○松林 誠¹、八田 岳士¹、三好 猛晴¹、M アニスザマン^{1,2}、アリム アブドゥル¹、
 山地 佳代子¹、志村 亀夫¹、磯部 尚¹、辻 尚利²
 (¹農研機構 動衛研、²東大 院農・農学国際)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-16~C-19

9:30~10:10

座長:西川 義文(帯広畜産大学)

- C-16 *Toxoplasma gondii* PKA regulatory subunitの機能解析…………… 200
 黒川 瞳、○加藤 健太郎、岩永 達也、杉 達紀、首藤 篤史、小林 郷介、
 ゴン 海燕、竹前 等、堀本 泰介、明石 博臣 (東大 農・獣医微生物)
- C-17 トキソプラズマ原虫のプラティゾイト誘導を引き起こすBKIの標的遺伝子解析…………… 201
 ○杉 達紀、加藤 健太郎、小林 郷介、竹前 等、Gong Haiyan、岩永 達也、
 堀本 泰介、明石 博臣 (東大院 農・獣医微生物)
- C-18 トキソプラズマ原虫RON4に結合する宿主因子の解析…………… 201
 ○竹前 等、小林 郷介、杉 達紀、ゴン 海燕、岩永 達也、堀本 泰介、明石 博臣、
 加藤 健太郎 (東大院 農・獣医微生物)
- C-19 A new identified rhoptry protein from *Toxoplasma gondii* is associated with host heat shock protein…………… 201
 ○Haiyan Gong、小林 郷介、杉 達紀、竹前 等、堀本 泰介、明石 博臣、
 加藤 健太郎 (東大院 農・獣医微生物)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-20~C-23

10:10~10:50

座長:加藤 健太郎(東京大学)

- C-20 組換えトキソプラズマを用いたサイクロフィリン18の免疫活性化能の検証…………… 201
 ○西川 義文、Hany Ibrahim、亀山 響子、玄 学南 (帯畜大 原虫研)
- C-21 ネオスポラ分子特異抗体を基盤とするネオスポラ症病態診断用マーカーの探索…………… 202
 ○日浅 淳¹、西村 麻紀¹、板本 和仁³、玄 学南¹、猪熊 壽²、西川 義文¹
 (¹帯畜大 原虫セ、²帯畜大 臨床獣医、³山口大 臨床診断学研究室)
- C-22 マラリア代謝産物Hemozoinならびにそのワクチンアジュバントとしての有用性について …… 202
 ○大畑 敬一^{1,2}、八木 正典³、猪狩 義勝²、津久井 利広²、福井 真人²、堀井 俊宏³、
 審良 静男¹、石井 健^{1,4}、Coban Cevayir¹
 (¹大阪大学 免疫学フロンティア研究センター、
²ゼノアック日本全薬工業(株) 中央研究所、³大阪大学 微生物病研究所、
⁴独立行政法人医薬基盤研究所)
- C-23 *Plasmodium berghei* オーシスト壁構成タンパク質の探索…………… 202
 ○上田 博康、楯 啓吾、佐々木 瑞希、梶本 真希、藤井 嘉人、筏井 宏実
 (北里大 獣医・獣医寄生虫学)

座長: 松尾 智英 (鹿児島大学)

- C-24 *Babesia microti* Hobetsu株におけるELISA法の開発とその検討 202
 ○直 完明¹、平田 晴之¹、関谷 尚絵^{1,2}、倉田 貴子³、新井 智²、石原 智明¹
 (¹酪農大 獣医・実験動物、²国立感染症研究所 感染症情報センター、
³大阪府立公衆衛生研究所 感染症部)
- C-25 Comparison of the sequence of mitochondrial DNA from diminazene aceturate resistance
Babesia gibsoni strain with those from wild type. 203
 ○Bandula Kumara Wickramasekara Rajapakshage、山崎 真大、中村 健介、佐々木 東、
 村上 正紘、田村 悠、Sue Yee Lim、大田 寛、滝口 満喜 (北大院 獣医内科)
- C-26 *Babesia gibsoni*可溶性抗原および抗体の推移とワクチン効果との関連性 203
 ○井口 陽香、須永 藤子、並河 和彦 (麻布大 獣医学部獣医学科)
- C-27 Development and evaluation of *Babesia bigemina*-specific nested PCR method based on the
 gene encoding apical membrane antigen-1 (AMA-1) 203
 ○Thillaiampalam Sivakumar¹、Khukhuu Altangerel¹、Badgar Battsetseg²、
 Banzragch Battur²、Mahmoud Aboulaila¹、Tserendorj Munkhjargal¹、横山 直明¹、
 五十嵐 郁男¹ (¹帯畜大 原虫研、²モンゴル農業大 獣医研)

座長: 横山 直明 (帯広畜産大学)

- C-28 ミンク (*Neovison vison*) から検出された新型ピロプラズマ目原虫の進化系統解析 203
 ○石鍋 里樹¹、平田 晴之¹、陳内 理生¹、浅川 満彦²、石原 智明¹
 (¹酪農大 獣医・実験動物、²酪農大 獣医・獣医寄生虫病学)
- C-29 *Theileria parva*原虫感染牛属のサイトカイン発現比較解析 204
 ○今内 覚¹、岡川 朋弘¹、Githaka Naftaly¹、目堅 博久¹、鈴木 紗織¹、
 Kariuki Edward²、Skilton Robert³、石塚 真由美¹、村田 史郎¹、大橋 和彦¹
 (¹北大院 獣医学研究科、²Kenya Wildlife Service、
³International Livestock Research Institute)
- C-30 Genetic sub-structuring in field populations of *Theileria parva* in Kenya 204
 ○Githaka Naftaly¹、今内 覚¹、Kariuki Edward²、村田 史郎¹、大橋 和彦¹
 (¹北大 獣医学研究科、²Kenya Wildlife Service)
- C-31 The first survey of *Theileria orientalis* infection in Mongolian cattle 204
 Khukhuu Altangerel¹、Badgar Battsetseg²、Banzragch Battur²、
 Thillaiampalam Sivakumar²、五十嵐 郁男¹、松本 高太郎³、猪熊 壽³、○横山 直明¹
 (¹帯畜大 原虫研、²モンゴル農業大 獣医研、³帯畜大 臨床獣医)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-32~C-34

14:20~14:50

座長:大西 義博(大阪府立大学)

- C-32 アフリカトリパノソーマ症血清学的診断におけるTR抗原の有用性…………… 204
○後藤 康之^{1,2}、Malcolm Duthie^{3,4}、Darrick Carter^{3,4}、Thuy Nguyen²、麻田 正仁²、
松本 芳嗣¹、河津 信一郎²、井上 昇²
(¹東大院 農学生命科学研究科 応用免疫学、²帯畜大 原虫病研究センター、
³Infectious Disease Research Institute、⁴Protein Advances Inc.)
- C-33 トリパノソーマ原虫感染において制御性樹状細胞は炎症反応を抑制して
病態の改善に関与する…………… 205
○目堅 博久¹、今内 覚¹、井上 昇²、村田 史郎¹、大橋 和彦¹
(¹北大院 獣・感染症、²帯畜大 原虫研)
- C-34 アカハライモリに寄生するトリパノソーマについての形態学的ならびに分子系統学的アプロ
ーチ…………… 205
○藤井 浩平¹、佐藤 宏¹、宇根 有美²
(¹山口大 農・獣医寄生虫病、²麻布大 獣医・病理)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-35~C-36

15:00~15:20

座長:佐藤 宏(山口大学)

- C-35 トラフグにおける粘液胞子虫性やせ病の病態と血液性状値解析…………… 205
○大谷 健太¹、矢賀部 和也¹、岩崎 忠¹、児玉 洋¹、堀谷 勇介²、竹中 重雄²、
梅瀬 英夫³
(¹大阪府大 獣医免疫学、²大阪府大 細胞分子生物学、³リタニアルバイオサイエンス)
- C-36 青森県の野ネズミ類におけるエンセファリトゾーンの感染調査…………… 205
○土山 敦子¹、佐々木 瑞希¹、久保 達也²、朴 天鎬²、筏井 宏実¹
(¹北里大 獣医・獣医寄生虫学、²北里大 獣医・獣医病理学)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-37~C-38

15:20~15:40

座長:磯部 尚(動物衛生研究所)

- C-37 野鳥における血液寄生原虫感染の経年モニタリング…………… 206
○井村 貴之¹、鈴木 優佳²、佐藤 雪太¹、江尻 寛子¹、石田 健³、炭山 大輔²、
村田 浩一²、湯川 眞嘉¹
(¹日本大 獣・実験動物、²日本大 動物資源・野生動物、³東大 農生命)
- C-38 ベクター由来原虫遺伝子解析による国内の鳥マラリア原虫の分布状況…………… 206
○江尻 寛子¹、佐藤 雪太¹、金 京純²、津田 良夫²、井村 貴之¹、炭山 大輔³、
村田 浩一³、湯川 眞嘉¹
(¹日本大 獣・実験動物、²感染研 昆虫医科学、³日本大 動物資源・野生動物)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-39~C-42

15:40~16:20

座長: 今内 覚 (北海道大学)

- C-39 Longistatin, a novel plasminogen activator from hard ticks, is resistant to plasminogen activator inhibitor-1 206
 ○アニスザマン M^{1,2}、Khyrul Islam²、Abdul Alim²、三好 猛晴²、八田 岳士²、
 山地 佳代子²、松林 誠²、松本 安喜¹、藤崎 幸蔵³、辻 尚利^{1,2}
 (1東大 院農・農学国際、2農研機構 動衛研、3鹿児島大 先端獣医科学)
- C-40 HlChI, a blood induced Kunitz-like protein from the hemocytes of the ixodid tick *Haemaphysalis longicornis*, is a potent chymotrypsin inhibitor 206
 ○Abdul Alim¹、Khyrul Islam¹、M Anisuzzaman^{1,2}、三好 猛晴¹、八田 岳士¹、
 山地 佳代子¹、松林 誠¹、藤崎 幸蔵³、辻 尚利^{1,2}
 (1農研機構 動衛研、2東大 院農・農学国際、3鹿児島大 先端獣医科学)
- C-41 バベシア原虫*Babesia gibsoni*の寄生に伴うフタトゲチマダニ中腸の分子応答 207
 ○八田 岳士¹、松林 誠¹、三好 猛晴¹、アニスザマン M¹、アリム アブドゥル¹、
 山地 佳代子²、藤崎 幸蔵^{3,4}、辻 尚利¹
 (1動衛研 寄生虫、2畜草研 草地管理、3帯畜大 原虫研、4鹿児島大 獣医新興感染)
- C-42 マダニ中腸セリンプロテアーゼインヒビターによるバベシア原虫増殖抑制 207
 ○三好 猛晴¹、八田 岳士¹、Abdul Alim¹、M Anisuzzaman^{1,2}、山地 佳代子¹、
 松林 誠¹、佐藤 真澄¹、藤崎 幸蔵³、辻 尚利^{1,2}
 (1農研機構 動衛研、2東大 院農・農学国際、3鹿児島大 先端獣医科学)

9月21日(水) 第7会場 演題番号 C-43~C-45

16:20~16:50

座長: 岡本 宗裕 (京都大学)

- C-43 シュルツェマダニ (*Ixodes persulcatus*) 唾液腺由来免疫抑制因子の同定および発現解析 207
 ○丹羽 彩乃¹、今内 覚¹、Naftary Githaka¹、伊東 拓也²、川端 寛樹³、村田 史郎¹、
 大橋 和彦¹ (1北大 獣・感染症、2北海道衛生研究所、3感染研)
- C-44 節足動物DNAのリボゾームRNA遺伝子ITS領域のサイズ分析による生物種同定の試み 207
 ○佐藤 福太郎¹、遠藤 大二²、吉村 貴行¹、伊東 拓也²、長 雄一³、浅川 満彦¹、
 昆 泰寛⁴、市居 修⁴、大塚 沙織⁴、林 正信¹
 (1酪農大 獣医学部、2北海道衛生研究所 衛生動物科、
 3北海道総合研究機構 環境科学研究センター、4北大 獣医学研究科解剖学教室)
- C-45 ペルー・アンデス地域に分布するヒト吸血性サシチョウバエにみとめられたトリパノソーマ科原虫の自然感染 208
 ○加藤 大智¹、Eduardo Gomez²、Abraham Caceres³、橋口 義久⁴
 (1北大 獣医・寄生虫、2エクアドル・マラリア撲滅対策研究所、3ペルー・保健研究所、
 4高知大 医・寄生虫)